



千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

謹賀新年

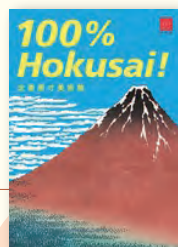
明けましておめでとうございます。旧年中は多数の方にご利用をいただき、厚く御礼申し上げます。本年も、本を読み・調べる「図書館」と、歴史や多彩な文化情報を展示する「ミュージアム」、さまざまな講座やイベントを行う「カレッジ」が一体となった複合文化施設として、来館者のどなた様にも満足して頂けるよう、一層の充実を目指してまいります。多くの方のご来館、ご利用をお待ちしております。本年の皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成31年 元旦

あけまして おめでとうございます。

日頃より図書フロアをご利用いただきありがとうございます。本年もより良いサービスの充実を目指してまいりますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

初夢にみると縁起がよいものとされる「一富士・二鷹・三茄子」。みなさんの夢に登場したことはありませんか？吉夢をみるためには悪夢を喰うという鏡(バク)や、宝船が描かれた絵を枕の下に敷いて寝るとよいといういわれがあります。枕の下に絵を敷く代わりに、こんな本をそばに置いて素敵な初夢がみられるかもしれません。



『北斎原寸美術館 100%Hokusai!』
小林忠 監修・執筆 / 橋本麻里 執筆
小学館 2016年



『伊藤若冲作品集』
太田彩 著
東京美術 2015年



『日本のたしなみ帖 縁起物』
現代用語の基礎知識編集部 編
自由国民社 2016年

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

新年を寿ぐ本5選

- 『しめかざり 新年の願いを結ぶかたち』
●著者:森須磨子 ●出版社:工作舎 ●2017年
- 『吉祥の図案 宝づくしと龍・獅子・鳳凰のデザイン』
●著者:河原崎奨堂 ●出版社:芸艸堂 ●2011年
- 『晴れの日本料理』
●著者:永坂早苗 ●出版社:求龍堂 ●2018年
- 『扇子』
●NHK「美の壺」制作班 編 ●出版社:日本放送出版協会 ●2008年
- 『福の神と貧乏神』
●著者:小松和彦 ●出版社:筑摩書房 ●1998年

Exhibit Information

1月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 『明治 あたらしい時代を迎えた人々』(～1/18)
明治という新しい時代を迎えたとき、そこに生きた人々にはどのような変化の波が押し寄せたのでしょうか。衣食住、建築、文学、芸術などに関する資料を展示しながら、現代にもつながる文化の転換期を眺めます。

3F グリーンゾーン 『平成の31年』(～2/15)
平成が終わり新元号となるまで、あと残り数か月。バブル崩壊や、度重なる自然災害の発生と同時に、テクノロジー分野の進歩などから人々の生活が激変した31年間を資料によって振り返ります。

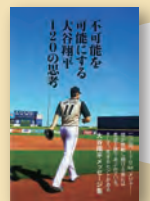
3F ブルーゾーン 『漢字展』(～4/12) **NEW!**
毎年、1年を漢字1字で振り返る企画が目玉で、近年ではアートの面からも海外で注目を集めている「漢字」。我々が暮らす上で欠かすことのできない「漢字」という文字に改めて焦点を当て、その魅力を伝える展示を行います。

展示 PICK UP

2Fパープルゾーン【三角台】 (～1/31(木))
『スタッフが選ぶ大切な人に贈りたい本』
お歳暮やクリスマス、お年玉など、年末年始はプレゼントを贈ったり、贈られたりするの多い季節です。図書館でもそんな楽しい雰囲気味わって頂けるよう、図書館スタッフが選んだ「大切な人に贈りたい本」を展示しています。



『ウッドハウス・コレクション がんばれ、ジューズ』
P.G.ウッドハウス 著
森村たまき 訳
国書刊行会 2010年



『不可能を可能にする大谷翔平120の思考』
大谷 翔平 著
びあ 2017年

3Fエレベーターホール (～3/31(日))

『美熟女子 in 日比谷図書文化館』
「美熟女子」とは…
コレクションの時代・内容、そして立地も近いという共通点を持つ東京国立近代美術館・三菱一号館美術館・プリチストン美術館の3館の広報担当者が、美術そのものの魅力や楽しみ方を広げたいと立ち上げたツイッターです。当館では、この3館が発行した展覧会カタログやチラシとともに、美術館を訪れるきっかけとなるような資料を展示しています。また、同じ3階の「アート情報支援コーナー」では、「鑑賞する」ための資料だけでなく、クリエイターやアートマネジメントの担い手を応援する資料も多数ご用意していますので、こちらもぜひご覧ください。

https://twitter.com/binetsujoshi_pr



- 最新の展覧会カタログも展示・貸出しをしています。
- 『フィリップス・コレクション展』
安井裕雄 編
三菱一号館美術館
2018年
 - 『プリチストン美術館展』
ひろしま美術館 編集
公益財団法人
ひろしま美術館
2018年
 - 『アジアにめぐめたら』
東京国立近代美術館(他) 編集
東京国立近代美術館
2018年



『千代田之大奥』かるた/楊洲周延 明治29年(1896)千代田図書館寄託

『千代田之大奥』

江戸城別名の「千代田城」の大奥の年中行事やそこで暮らす奥女中たちの姿を描いた大判3枚続きの錦絵で、総数107枚からなります。作者の楊洲周延(ようしゅうちかのぶ)により明治27年(1894)から同29年にかけて発行されました。主な題材はお正月、お花見、歌合、お召替え、お髪上げなどです。

From Chiyoda Public Library【千代田区立図書館からのお知らせ】

本にまつわる
情報をお届け!

ちよびたブログ

<http://chiyoda-dokusho.jp/>



図書館の最新トピックをはじめ、近隣で行われている本にまつわるイベントや本の紹介、季節の情報などを毎月5回更新しています。千代田区読書振興センターのスタッフのほか、千代田図書館と日比谷図書文化館のコンシェルジュが現地取材をして、写真とともに楽しい情報をお伝えしています。ぜひアクセスしてみてください。

▶お問い合わせ先:千代田区読書振興センター(千代田図書館内) 03-5211-4289・4290



calendar 開館時間:平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

| 2019年1月 | | | | | | | 2019年2月 | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | 1 | 2 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | |



access

〔都営地下鉄〕
●三田線
「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
●丸ノ内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

1・2月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

1/12(土) HIBIYAイノベーション・キャンパス 2018 第6弾「ワークショップ【実践編】」 『システム思考で既存に囚われないアイデア および実現方法を考える』

講師：鳥谷 真佐子(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任講師)
広瀬 毅(慶應義塾大学大学院SDM研究科 特任助教)

物事や世界をシステムとして捉えて問題解決やアイデア創出をするプロセスを学ぶ講座です。「ワークショップ」の【実践編】では、初級編と同様の知識・方法を学ぶと共に、システム思考を通じて既存のやり方に囚われないアイデアおよび実現方法を考えるまでの流れを体験します。(協力：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 附属SDM研究所イノベティブデザインセンター)



■日時：1月12日(土)13:00～17:00(12:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：40名
■参加費：3000円

※2018年9月22日(土)、11月24日(土)に開催したワークショップ【実践編】第2弾、第4弾と同じ内容になります。

1/18(金) 展示会への入口講座 Vol.26 顔真卿と祭姪文稿 唐代書法の輝き

講師：富田 淳(東京国立博物館 学芸企画部長)

顔真卿(709～785)が、安史の乱で非業の死を遂げた若き顔季明(がんきめい)を供養した文章の草稿「祭姪文稿」は、王羲之(おうぎし)の「蘭亭序(らんでいじょ)」に比肩する名品です。唐王朝が大きく変貌を遂げつつあった時期に活躍した顔真卿に焦点をあて、その生涯をたどるとともに、唐代に作られた名品の数々をご紹介します。



祭姪文稿(部分)顔真卿筆 唐時代・乾元元年(758) 台北 國立故宮博物院蔵

■日時：1月18日(金)19:00～20:30(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)

1/30(水) 世界史を変えた海賊—ならず者か英雄か

講師：竹田 いさみ(獨協大学外国語学部教授)

小さな島国でとても貧しかった16世紀のイギリスが、その200年後には産業革命を成し遂げ、大英帝国を築いた。この奇跡のような発展を遂げたイギリスの謎を解く鍵となるのが、エリザベス一世女王が操った海賊にある。スペイン、ポルトガル商船を襲撃させることによる大金の獲得、東インド会社設立による巨額の利益獲得など、海賊国家イギリスの実像に迫る。



■日時：1月30日(水)19:00～20:30(18:30開場) フランシス・ドレーク(1543年-1596年) 世界周航、スペイン無敵艦隊撃破、略奪で歴史に名を残す大海賊。
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名 ■参加費：1000円

2/7(木) 中村市への招待～実在しない街の生まれかた～

講師：今和泉 隆行(空想地図作家)

あらゆる他者を想像することで実在しない街の地図を作成し、空想地図作家として活躍する今和泉氏。今回は初期の手書きの空想地図から最新の作品までを解説していただき、その製作過程や試行錯誤の経緯を伺いながら、広がり続ける「中村市(なごむるし)」の姿を覗きます。



1:15,000 中村市地図

■日時：2月7日(木)19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：1000円

2/13(水) 古書で紐解く近現代史セミナー 第33回 地図からみた日本統治期台湾の地方都市

講師：辻原 万規彦(熊本県立大学環境共生学部教授)

地図には、つくられた目的によりさまざまな情報が盛り込まれています。本講座では特別研究室所蔵の『火災保険特殊地図』など戦前の台湾の地図(情報)をもとに、台湾の都市を考えます。古都や政治の中心、内陸都市、港湾都市、糖業都市などいくつかの類型に分け、都市がどのように構成されているか、どのようにできてきたかを読み取り、読み解きます。



台南下横街『台湾拓殖画帖』/1918年

■日時：2月13日(水)19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民・学生500円)
※学生の方は、当時、受付で学生証をご提示ください。

2/15(金) 千代田区内ミュージアム連携展覧会への入口講座Vol.27 温泉～江戸の湯めぐり～

国立公文書館平成30年度第4回企画展の内容を中心に

講師：高橋 喜子(独立行政法人 国立公文書館 統括公文書専門官室 調査員)

日本人が古くから親しんできた温泉。江戸時代には、名所図会、紀行文などを通して温泉地の情報が流布しました。本講演では、国立公文書館で開催する企画展「温泉～江戸の湯めぐり～」(平成31年1月26日(土)～3月9日(土))の内容を中心に、関連資料を解説します。主に江戸時代の資料を取り上げ、人々と温泉の関わりをご紹介します。



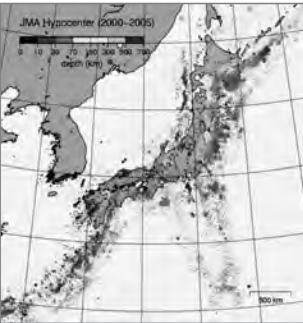
「七湯集(しちとうしゅう)」 国立公文書館蔵 文化8年(1811)に成立した箱根温泉の案内書

■日時：2月15日(金)19:00～20:30(18:30開場)
■会場：地下1階 コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：500円

2/20(水) 地震の予測はなぜ難しいのか

講師：井出 哲(東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻教授)

日本是世界でも稀に見る地震国であり、近い将来に大地震が起こることは、ほぼ確実である。しかし「直前に警報を出すような地震予知」は、ほぼ不可能である。地震とはどのような現象であり、なぜ予測するのが難しいのか?将来の地震について何がわかっているのか?最新の知見をもとに紹介する。



日本の地震活動

■日時：2月20日(水)19:00～20:30(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円

2/26(火) 民衆にとっての「墓」の変遷—葬送の原点を探る

講師：碑文谷 創(葬送ジャーナリスト)

「墓」という言葉で想起するエジプトのピラミッド、日本の古墳は支配者の墓であって民衆の「墓」ではありません。名もない民衆個々にとって、死者とはどのような存在で、「ハカ」とはどのようなものだったのでしょうか?少子高齢社会にある日本の葬送は、いま大変動期にあります。考える視座を探ります。



■日時：2月26日(火)19:00～20:30(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円

広報室より 新年あけましておめでとうございます。

日本では古くから様々なお正月の行事や文化が受け継がれています。初日の出に願い事をしたり、門松飾りや鏡餅を飾ったり、羽根つきやカルタ遊びなどは宮中行事が江戸時代に一般へ広く伝わったものです。おせち料理もその1つで、暦の上で節目に

◆古文書塾てらこや1月期本講座◆

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んで頂ける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。



| | 講座名 | 曜日・時間 | 開講日 |
|-------------|------------------------------|-----------|------|
| 特別講座 90分 | 大久保利通の手紙を読む | (火)19:00～ | 1/8 |
| | 浮世絵を読む【藍色クラス】 | (水)10:30～ | 1/16 |
| | 開国ニッポンの外国人—ジャーナリストの取材ノートパート2 | (水)13:30～ | 1/9 |
| | 商家文書を読みとく—三井の子弟教育 | (水)19:00～ | 1/9 |
| | 江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ | (木)18:30～ | 1/10 |
| | 絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編) | (土)10:30～ | 1/12 |

■期間：1月8日(火)から順次開講 ■会場：4階 セミナールーム(会議室)
■定員：各23名(事前申込順) ■参加費：13,650円(全5回/各回90分/3ヵ月分。別途資料代500円)※てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。
■お問い合わせ：電話 03-3502-3340

●特別研究室企画展示● 予告 広告で見る日本統治期台湾の商業地

特別研究室の内田嘉吉文庫に残されている日本統治期台湾関連本にはさまざまな広告が掲載されているものがあります。それらの広告のグラフィックデザインやキャッチコピーなどから時代的特徴を見てとることができ、記載されている企業・商店等の所在地からは、当時の商業の中心地を知ることもできます。本展示では、日本統治期台湾の広告を紹介するとともに、広告主の所在地を特別研究室所蔵の『火災保険特殊地図』上に特定することを試みました。広告と地図からかつての台湾の賑わいの街をご覧ください。



台湾総督府民政部殖産局編『台湾』(1912年)より

1月22日(火) ▼ 3月31日(日)

常設展示室 千代田にみる都市の成立と展開のご案内

「環境・人間・都市」をテーマとして、これまでの遺跡発掘調査や史資料調査によって明らかとなった千代田区の歴史を様々な資料や映像で解説しています。デジタル技術を駆使したバーチャル特による江戸城の儀式案内も必見です。

| | |
|---|--|
| <p>I</p> <p>【発掘されたくらしと環境】 都市の自然環境の変貌や、発掘調査で明らかとなった中世以前の歴史を解説します。</p> | <p>II</p> <p>【日比谷入江と中世千代田】 江戸氏から太田道灌、小田原北条氏、徳川家康入国までの歴史を、日比谷入江をクローズアップしながら辿ります。</p> |
| <p>III</p> <p>【将軍の城づくり】 徳川家康・秀忠・家光の将軍三代の江戸城築城と城下の整備を解説します。</p> | <p>IV</p> <p>【江戸から東京へ】 江戸の四季の風景を背景に江戸中後期から明治維新期にかけての歴史を展示しています。</p> |
| <p>V</p> <p>【まちの歴史】 区内を四つの地域に分けてその歴史を解説します。</p> | |

▶場所：日比谷図書文化館1階
▶入場無料 ※開室時間、休館日は日比谷図書文化館の開館日時に準じます。

あたる日に邪気を祓い不老長寿を神様に祈願する宮中行事に供された食べ物が由来とされています。黒豆や数の子など無病息災や子孫繁栄など縁起物の料理を詰めたおせち料理は、良い1年を願う思いが込められています。2019年、日比谷図書文化館もおせち料理のように様々な企画や展示がギュッと詰まった、皆さまにとって良い1年が過ごせる施設を目指してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。